区分28	専門分野 病態学	授業科目名	臨床病理学総論	単位数	1単位 （30時間）
開講時期	2年　後期	担当教員	野上　晶子	担当教員の実務経験	(有)・無

◆実務経験の内容

大手検査機関SRLおよび長崎・大分の基幹病院にて臨床検査に従事。その後、日本文理大学医療専門学校の教員を経て現職。「現場を知る実務家教員」として、次代の医療人の育成に力を注いでいる。

◆授業の目的・目標

目的：正常な生体構造・機能が崩れる「病気の成り立ち」を系統的に理解する。

目標：炎症、腫瘍、循環障害などの基本病態を理解し、主要疾患の症状と検査所見を関連づけられる。

◆授業の概要・授業方針

概要：総論（変性、壊死、炎症等）および各論（臓器別疾患）。

方針：検査技師の視点から「どの組織が壊れたから、どのデータが動くのか」という因果関係を視覚的に解説する。

◆テキスト・参考資料等

最新　臨床検査学講座　病態学/臨床検査医学総論　第4版　（医歯薬出版株式会社）

◆成績評価の方法

定期試験、授業態度、小テスト等で評価

授業計画		チェック欄
第1回	アレルギー疾患①	
第2回	アレルギー疾患②	
第3回	アレルギー疾患③	
第4回	代謝・栄養障害①	
第5回	代謝・栄養障害②	
第6回	代謝・栄養障害③	
第7回	代謝・栄養障害④	
第8回	感覚器疾患	
第9回	中毒	
第10回	染色体・遺伝子異常症	
第11回	皮膚疾患	
第12回	乳腺疾患	
第13回	検査診断学総論①	
第14回	検査診断学総論②	
第15回	まとめ	